

---

# たとえ、自分が消えてもあなたのことは忘れない.....

葉月 彌勒

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

たとえば、自分が消えてもあなたのことは忘れない……

### 【Nコード】

N2330J

### 【作者名】

葉月 彌勒

### 【あらすじ】

次元の塔でユウナとリオンは闇に染まったラファエルを倒し、正気に戻した後、星の停止を食い止めた。

ユウナたちは虹の石船に向かうが、別れの時が来てしまうのだった。

## (前書き)

この話は本編で言うところ一番最後のほうですね。ちなみに擬人化で行っています。

主人公であるユウナと言う名前の女の子はピカチュウ、パートナーのリオンと言う名前の男の子はヒノアラシが原型になっています。

聞いた事ある、見た事のある名前ですけど、この名前は某作品のキヤラの名前をとってつけましたww

たとえば、自分が消えてもあなたのことは忘れない……

ユウナとリオンは闇に染まったラファエルを倒し、彼を正気に取り戻した後、次元の塔を出発し、虹の船に向かう。星の停止を食い止めたとはいえ、まだ地震が揺さぶる。リオンはユウナに話しかける。

「早く行こう、ユウナ」

ユウナはリオンの呼びかけに対して首を縦に振るが、体が思うように動かない。まるで 体中に鎖を背負ったように

その時だった！

ユウナの体は光に包まれていた。そう、彼女は消滅のときを迎えてしまったのだ。時代を変えてしまった事によって 未来のポケモンは消える運命であるという事はユウナも知っていた。

リオンと一緒にいられるのも……ここまでのようね……

「おい、ユウナー！」とリオンはユウナに呼びかけ、駆けつける。リオンは、ユウナの体に気づき尋ねた。

「あれ？ ユウナ、どうしたの？ その体」

尋ねられたユウナは渋々ながら本当のことを話す。自分が消滅する事を

「ごめんね、リオン。ずっと話せなくて……」

「ここでお別れみたい」

突然のユウナの発言にリオンは驚愕する。何でお別れを？ どうして？ リオンは彼女になぜお別れなのかを言う。

「ノアが言っていたの。時代を変えることによって、未来のポケモンが消えるんだと言う事を……」

「だから 今の私は消える運命にある……」

「え……？ ええっ！？ どういうことなのかさっぱりわかんないよ！」

リオンはユウナが消えるという状況がよく分からなかった。ユウナは未来から来た元人間 時代を変えたことによって未来のポケモンは消滅のときを迎えるのである。

「リオン、今まで一緒に探検隊をしてくれてありがとうね。私はもう消えてしまうけど、リオンの事、忘れないからね」

「ちょっとまってよ……ユウナ……。僕、ユウナがいたから……ここまで一緒にやれたんだよ……？ ユウナがいたから……ここまで……強くなれたんだよッ……！」

ユウナが……いなくなったら……僕は……ッ！」

リオンはユウナがいなくなったらどうするのかを涙声で言う。ユウナがいたから強くなれた。ユウナがいたからここまで出来た。しかし、彼女がいなくなったらリオンはどうすればいいのか分からない。寂しい思いになるかもしれない。

リオンは彼女が消えてしまう事を拒むように、目からぼろぼろと涙を流しながら言う。ユウナは彼女のお別れを惜しむリオンに叱咤激励をする。

「このままじゃ駄目よ、リオン。私がいなくても……リオン一人で生きるんだよ。」

生きて……今回の事をみんなに伝えてあげて。もうこのような事を……二度と起こさないためにもね……」

「ユウナ……」

ユウナの体に舞う光が強くなる。もうすぐ消えてしまうだろう。リオンは声を荒げて「ユウナ！ 行っちゃ駄目だ！」と叫び、ユウナの肩を掴んで跪く。ユウナは右手でリオンの手を掴み、低い声でお礼の言葉を言う。

「リオン、今までありがとう。一緒にギルドの修行をして……一緒に探検できて……」

そして何よりもリオンにも会えて……本当によかった……」

ユウナはリオンと一緒に探検した事や、出会えた事に感謝している。ユウナが消えても、その事は絶対に忘れないと。

「ユウナ……待ってよ……行かないで……！」消えないでと、リオンは涙涙で、ユウナの肩をがっちりと持っている。消えないで。彼の思いはとても辛い。ユウナが消えたらとても悲しい。だが、ユウナは何時までもいるわけではない。

ユウナの体は徐々に消えつつある。



(後書き)

音楽を聴きながらこの話を読むと、結構泣けます。子供だけじゃなくて大人も泣けるゲームですね。  
主人公が消えても、パートナーが思いを受け継ぐと言う話です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2330j/>

---

たとえ、自分が消えてもあなたのことは忘れない.....

2010年10月11日14時46分発行